

仮称「在宅医療と介護に関する市民シンポジウム」開催（案）

- 1 タイトル 案1 「みんなで支える在宅医療と介護」
案2 「在宅ケアについて知ろう ～住み慣れた地域で医療と介護を受けたいあなたに～」
- 2 日 時 平成29年2月19日（日） 14：00～16：00（受付／13：30～）
- 3 場 所 高松国際ホテル 瀬戸の間
- 4 対 象 300人
【内訳】◆一般市民 100名 ◆地区組織等関係者 50名（保健委員会、民生委員地区社協等）◆在宅医療・介護関係者 150名（医師会・歯科医師会等各職能団体、地域医療連携室、在宅医療コーディネーター、介護関係者、学生等）
- 5 目 的 一般市民が、在宅医療・介護を自分のこととして関心をもち、考える機会とする。
（☆小児、成人のがん末期等の看取りは除いて考える）
- 6 内 容 ○在宅ケア（療養）とは？
○どのような状態の人が、在宅医療・介護サービスを受けられるのか？
○どのような在宅医療・介護サービスの種類があるのか？
○かかりつけ医を持ちましょう
○高松市の現在の取り組み状況
- 7 基調講演 テーマ：仮称「母に歌う子守唄 ～わたしの介護日記～」
講師：落合 恵子（作家/東京家政大学人間文化研究所 特任教授）
- 8 パネルディスカッション テーマ：仮称「自分らしい生き方」
コーディネーター1名、パネリスト3名程度（在宅医療コーディネーター他2名）
- 9 「高松市在宅ケア便利帳」概要版を配布予定
- 10 周知方法 市報、定例記者会見、市ホームページ、四国新聞、リビング高松等に掲載
医療機関等関係機関（在宅医療連携会議委員）にポスターやちらし配布要請